

プロジェクト 環境変化に対応したりんご等果樹の高品質安定生産（拡充）

目標

- ・りんご中心果結実率 R6：36% → R10：50%
- ・ジュノハート栽培面積 R6：11.3ha → R10：11.3ha（特産果樹生産動態等調査結果）

挑戦する内容

- ・りんご等果樹の結実確保
- ・りんご等果樹の優良品種導入と高品質安定生産の推進
- ・おうとう「ジュノハート」等の高品質安定生産と出荷体制の強化

関係者の声 ＝対話

- ・マメコバチの回復には時間が必要。特にりんごでは人工受粉用花粉の確保が重要（生産者団体）
- ・ジュノハートの出荷規格の見直しに向けた検討の場が欲しい（生産者）
- ・おうとう以外の特産果樹の取組も欲しい（生産者）
- ・高品質生産には病害虫対策も重要（農協）

役割分担

- ・生産者：高品質安定生産に向けた対策と技術向上、ジュノハート出荷規格の遵守
- ・農協、市場：現地指導、ジュノハート上位等級品の品質検査
- ・産直施設：出荷者への出荷規格の周知・啓発
- ・産技センター：マメコバチの減少要因の解明やおうとう低樹高栽培の確立に向けた試験
- ・県：現地指導、生育状況調査、栽培技術研修会等の開催、生産情報の発行補助事業の実施、おうとう出荷規格等の周知・啓発

変革後の姿

- ・温暖化等の環境変化に対応したりんご等果樹の高品質安定生産体制の構築
- ・高品質なジュノハートが安定して生産され、上位等級品率が向上
- ・おうとうの低樹高栽培による省力化が実現

令和8年度計画

挑戦する内容

- りんご等果樹の結実確保
【重点エリア（農林水産事務所別ミッション）】中南地域
 - ・混植や受粉樹の高接ぎ等の啓発等による受粉環境の確保
 - ・マメコバチの減少要因の解明（りんご研）と巣箱の適正管理の推進
 - ・人工受粉体制の強化に向けた花粉の確保及び貯蔵・供給体制の構築
- りんご等果樹の優良品種導入と高品質安定生産の推進
 - ・「シャインマスカット」など優良品種への更新
 - ・生産技術研修会、栽培技術研修会の開催
 - ・県、農協、市場等の関係機関による園地巡回指導（随時）
 - ・生育状況に応じた生産情報の発行（随時）
 - ・青森県特産果樹産地育成・ブランド確立事業による施設整備
- おうとう「ジュノハート」等の高品質安定生産と出荷体制の強化
 - ・おうとう低樹高栽培実証ほを活用した検討会の開催
 - ・ジュノハートの出荷規格見直しに向けた着色・糖度データの収集・分析
 - ・ジュノハートの品質確保に向けた「品質検査員研修」開催及び出荷規格等の周知



生産技術研修会の様子

対話

- ・各種研修会や園地巡回の際に、生産者から現場の状況を聞き取り、生産情報や生産指導に反映（随時）
- ・おうとう「ジュノハート」ブランド化推進協議会作業部会を開催し、生産者及び農協、市場・市町村等と生産対策及び販売PR対策について改善点を検討（5月、1月）